

熊本大学文学部附属
国際マンガ学教育研究センター

年 報

第 2 号

2023 年度(令和 5 年度)

熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター

はじめに

私ども「熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター」の設立目的については、前年度の本年報で初代センター長の水元豊文氏が詳述しているので割愛する。

2022 年 10 月の設立から半年を経過し、2023 年度は予定していた兼務教員のスタッフも揃い、私どものセンターが本格的に活動を開始した年であった。センターの活動、兼務教員の活動内容は、「年間活動記録」、「年間活動報告」をご覧いただきたい。兼務教員 4 名と少ない人員であるが、研究活動、広報活動、社会貢献活動を着実に進めたことをご理解いただけることだろう。

「年間活動記録」、「年間活動報告」に記した以外にも、兼務教員はセミナー開催の準備、日本マンガ学会事務局担当の準備、学術誌（ジャーナル）刊行の準備などに取り組んだ。これらは、2024 年度の事業として実現する予定である。2024 年度は 2023 年度の活動をふまえて、より充実したセンターの成果を示すことができるように努めたい。

そのほか、私どものセンターでは、全学の留学生教育や国際学術交流に協力する準備も進めている。これらを通して「国際」の名を冠したセンターとしての内実を具えるものにしてゆきたい。

歩みを始めたばかりのセンターである。私どもの活動にご理解いただくとともに、温かく叱咤・ご支援くださるようお願い申し上げます。

2024 年 3 月 31 日

熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター長

伊 藤 正 彦



「梶原一騎が描いた五高生 一あゝ五高 武夫原頭に草萌えて」記念トークイベント
 「ご家族に聞く梶原一騎像」AT プロダクツ代表取締役 高森 城（聞き手：池川佳宏准教授）
 熊本大学×ニューコ・ワン共同企画（2023年11月18日 蔦屋書店熊本三年坂店）



NHK 大学セミナーin 熊本大学「マンガをテレビメディアで語る」
 「100 分 de 名著」の NHK エデュケーショナルプロデューサー秋満吉彦氏(熊大 OB)と
 宗教学者・相愛大学学長釈徹宗氏のトークイベント（2023年12月6日）

目 次

はじめに.....	1
1. 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター関連規則と組織.....	4
2. 年間活動記録.....	8
3. 年間活動報告	12
(1) 研究活動.....	12
(2) 広報活動.....	13
(3) 展覧会・講演会・地域貢献など.....	13
4. センター教員の年間活動.....	16

1. 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター関連規則と組織

熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター規則

(令和4年7月20日規則第134号)

(趣旨)

第1条 この規則は、熊本大学学則(平成16年4月1日制定)第8条第2項の規定に基づき、熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、日本のマンガ、アニメ等の現代文化資源の分野(以下「現代文化資源学」という。)における国際的研究拠点として、研究成果の国内外への発信、研究開発人材の育成及びマンガをはじめとする現代文化資料群のアーカイブ化を行い、もって現代文化資源学の教育研究の充実発展及び現代文化資源を活用した地域活性化に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 現代文化資源学の国際共同研究に関すること。
- (2) 現代文化資源学の研究成果の発表に関すること。
- (3) 現代文化資源学の研究資源の収集、整理及び公開に関すること。
- (4) 現代文化資源学の研究成果に基づく地域・社会貢献に関すること。
- (5) 現代文化資源学の発展に寄与する人材の育成に関すること。
- (6) その他センターの目的を達成するために必要な事項

(部門)

第4条 センターに、次に掲げる領域を置く。

- (1) 国際マンガ研究領域
- (2) マンガ刊本アーカイブ領域

(職員)

第5条 センターに、次に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 兼務教員
- (3) その他必要な職員

(センター長)

第6条 センター長の選考は、大学院人文社会科学研究部の専任の教授であって、文学部の教育を担当するもののうちから、文学部教授会の議に基づき、学長が行う。

2 センター長は、センターの業務を総括する。

- 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 センター長に欠員が生じた場合の補欠のセンター長の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

(兼務教員)

第7条 兼務教員は、大学院人文社会科学研究部の専任の教員であって、文学部の教育を担当するもののうちから、文学部長が任命する。

- 2 兼務教員の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 3 兼務教員に欠員が生じた場合の補欠の兼務教員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

(領域長)

第8条 各領域に領域長を置き、兼務教員のうちからセンター長が指名する者をもって充てる。

- 2 領域長は、領域の業務を総括する。

(委員会の設置)

第9条 センターの管理運営に関する事項を審議するため、熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の組織)

第10条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
 - (2) 文学部長
 - (3) 文学部副学部長
 - (4) 兼務教員
 - (5) その他委員長が必要と認めた者 若干人
- 2 前項第5号の委員は、文学部長が委嘱する。
 - 3 第1項第5号の委員の任期は、文学部長が委嘱の都度定めるものとし、再任を妨げない。

(委員会の審議事項)

第11条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの業務に関すること。
- (2) センターの施設及び予算に関すること。
- (3) その他センターの管理運営に関すること。

(委員長)

第12条 委員会に、委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第13条 委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、議事を開き、議決することが

できない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 議長は、センターに関する重要事項については、文学部教授会に諮るものとする。

(意見の聴取)

第14条 委員長は、必要があるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(事務)

第15条 センター及び委員会の事務は、教育研究支援部人社・教育系事務課において処理する。

(雑則)

第16条 この規則に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規則は、令和4年10月1日から施行する。

2 この規則施行後、最初に任命されるセンター長及び兼務教員の任期は、第6条第3項及び第7条第2項の規定にかかわらず、令和5年3月31日までとする。

令和5年度 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター運営委員会

センター長	伊藤 正彦 教授
文学部副学部長	中川 輝彦 教授
文学部副学部長	新井 英永 教授
兼務教員	日高 利泰 准教授
兼務教員	伊藤 弘了 准教授
兼務教員	鈴木 寛之 准教授
兼務教員	池川 佳宏 准教授

令和5年度 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター組織

センター長	伊藤 正彦 教授
-------	----------

国際マンガ研究領域

日高 利泰 准教授
伊藤 弘了 准教授

マンガ刊本アーカイブ領域

鈴木 寛之 准教授
池川 佳宏 准教授

2. 年間活動記録

2023/ 4/11	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
4/18	■イノベーション推進部門 平野氏	(池川)
4/19～	■課題研究、現代文化資源学実習、講読演習でセンター活用（通年）	(鈴木・日高・池川・伊藤弘)
4/21	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第1回マンガアーカイブ協議会	(ZOOM:鈴木・日高・池川)
5/1	○文化庁事業ミーティング 吉村氏・伊藤遊氏	(ZOOM:伊藤正・鈴木・日高・池川)
5/9	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
5/22	■肥後未来共創基金ミーティング 水元理事	(鈴木・日高・池川)
5/30	■センター運営委員会	(運営委員)
6/1	■肥後未来共創基金ミーティング 大谷理事、水元理事	(池川)
6/2	■五高記念館 藤本氏、キャンパスミュージアム推進室 堤氏ミーティング	(鈴木・池川)
6/3	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第2回マンガアーカイブ協議会	(鈴木・日高・池川)
6/13	□くまもとマンガ協議会総会 勉強会参加	(鈴木)
6/17	□くまもと県民テレビ センター取材 https://www.kkt.jp/televitamin/info/2023/07/18.html	(池川・鈴木) →7/4「てれびタ」放送
6/19	■五高記念館 藤本氏、キャンパスミュージアム推進室 堤氏 ツカサ創研ミーティング	(池川)
7/11	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木)
7/20	■NHK 熊本 小田原氏、類家氏ミーティング	(池川)
7/21 ～ 9/25	■くまもと文学・歴史館「マンガ県くまもと展」センター出展	(テキスト作成:池川)
7/28 ～ 9/25	■企画展「梶原一騎が描いた五高生 -あゝ五高 武夫原頭に草萌えて-」開催	(展示企画:池川)於:五高記念館→7/28 広報よりリリース
7/29	■テレビ熊本 企画展撮影取材 (8/5 オープンキャンパスでも撮影)	(池川)→9/23TKU ニュース放送

8/4	■合志市中学生の生徒『花とゆめ』閲覧のためご家族とセンターへ来訪	(池川)
8/6	□くまもとクリエイター懇親会	(鈴木・池川)
8/7	■READYFOR 村上氏ミーティング	(ZOOM:池川)
8/8	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第3回マンガアーカイブ協議会	(ZOOM:鈴木・日高・池川)
8/10	■広報戦略室 守田氏ミーティング	(池川・日高)
8/20	□「くまもとマンガ展」記念シンポジウム「マンガ県くまもとの10年後」司会	(池川) 於:くまもと文学・歴史館
8/19	■日本経済新聞取材 「熊本の公立高にマンガ学科在学デビューも視野 <活字の海で>」	(鈴木) 8/19 掲載
8/21	■田崎副知事・水元理事 ミーティング	(伊藤正・鈴木・日高・池川)
8/28	■BTconnect 中村氏ミーティング	(池川)
9/8	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第1回マンガ刊本ネットワーク会議	(鈴木・日高・池川)
9/12	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
9/15	■熊本創生推進機構 松浦氏ミーティング	(池川)
9/19	■読売新聞取材「漫画原画 保全へ一歩 <スキャナー>」	(鈴木) 9/19 掲載
10/3	■熊本創生推進機構 松浦氏、平野氏、熊本市青山氏、BTconnect 中村氏ミーティング	(池川)
10/4	■テレビ熊本 ゼミ授業撮影取材	(日高・池川)10月中旬 TKU ニュース放送
10/10	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
10/12	□クリエイター見本市	(鈴木・池川)於:熊本日日新聞社
10/27	□川崎のぼるさん「第2回熊日マンガ文化賞」贈呈式(センター教員による選考協力、伊藤センター長祝辞)	(伊藤正・鈴木・日高・池川)於:ホテル日航熊日掲載・RKK 放送
10/16	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 中間報告会	(ZOOM:鈴木・池川)
10/21	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 シンポジウム「マンガ刊本アーカイブセンターの創設に向けて」開催・登壇	(鈴木・池川)主催:文化庁、共催:熊本大学、於:明治大学

11/1	■朝日新聞熊本総局取材（ダンボール）	11/6 朝日新聞 Web 掲載
11/8	■記者懇談会にてリリース発表「実用新案取得の新製品「中綴じマンガ雑誌用収蔵ダンボール」、熊本県内企業 BTconnect とライセンス契約を締結」	（池川）リリースは 11/1 に配信
11/9	■熊本経済新聞 取材(梶原一騎展)	(池川) 11/14 に Web サイト 掲載
11/10	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第 2 回マンガ刊本ネットワーク会議	(ZOOM:鈴木・日高・池川)
11/14	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
11/15	■NHK 熊本小田原氏ミーティング	(池川)
11/15～ 11/21	■熊本大学×ニューコ・ワン共同企画「梶原一騎が描いた五高生 -あゝ五高 武夫原頭に草萌えて-」展	(展示企画:池川)於: 蔦屋書店熊本三年坂店→10/23 広報より リリース
11/15	■熊本日日新聞 リリース記事(梶原一騎展)	11/15 に紙面と Web 掲載
11/18	■トークイベント「梶原一騎が描いた熊本と五高—ルーツとしての熊本」「ご家族に聞く梶原一騎像(高森城)」 (テレビ熊本の撮影取材あり)	(池川) 於: 蔦屋書店 熊本三年坂店 →11/19 TKU ニュース放送
11/20	■熊本日日新聞 取材(ダンボール)	11/24 掲載
11/24	■NHK 熊本小田原氏、NHK エデュケーション秋満氏ミーティング	(Teams:池川)
12/1	■国際戦略課 松村氏、黒沼理事 ミーティング	(日高・池川)
12/2	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第 5 回マンガアーカイブ協議会	(鈴木・日高・池川)於: 熊本大学
12/4	■BTconnect 中村氏と RKK ラジオ「ミミーキャスター」取材(ダンボール)	(池川) →生放送
12/6	■「NHK 大学セミナーin 熊本大学 マンガをテレビメディアで語る」(NHK エデュケーションal プロデューサー秋満氏と宗教学者・相愛大学学長釈徹宗氏の対談)	(鈴木・日高・池川) 於: 熊本大学

12/9	■少年画報社 筆谷氏来訪	(鈴木・日高・池川)
12/11～	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業「マンガ刊本アーカイブアーカイブセンター」開設	(鈴木・日高・池川、事務補佐員:マシマ)
12/12	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木)
12/12	■フォーカス・オン・カルチャー 黒田氏ミーティング	(池川)
12/13	■丸善雄松堂 中島氏、キハラ・プリザベーション横島氏、栗原氏、合志マンガミュージアム橋本氏来訪	(池川)
12/14	■トリニティーワークス 宮田氏ミーティング	(池川)
12/22	■センター運営委員会	(運営委員)
12/24	■東京工芸大学 伊藤剛先生、細萱先生ダンボール導入ミーティング	(池川) 於:東京工芸大学
2024/1/9	■トリニティーワークス 宮田氏ミーティング	(池川)
2/1	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 第6回マンガアーカイブ協議会	(ZOOM:鈴木・日高・池川)
2/13	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木)
2/21	■五福公民館 松田氏 合志マンガミュージアム橋本氏 ミーティング	(池川)
2/21	○文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 最終報告会	(鈴木・池川)
3/1	■広報戦略室守田氏、城野印刷高岡氏、熊大なう取材 https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kouhou/kouhoushi/kumadainow/copy_of_kumadai_now_file_2023/20240319	(池川)→3/19 公開
3/12	□くまもとマンガ協議会 勉強会参加	(鈴木・池川)
3/15	■トリニティーワークス 宮田氏ミーティング	(池川)
3/20	■夏目房之介氏資料寄贈搬入(35 箱)	(池川)
3/21	■トリニティーワークス 宮田氏ミーティング	(池川)
3/25	■トリニティーワークス 「マンガ雑誌書誌管理・所蔵登録システム」納品	(池川)

■はセンター活動、□はくまもとマンガ協議会活動、○は連携する文化庁事業活動

(1) 研究活動

「刊本」と呼ばれるマンガ冊子の単行本・雑誌のアーカイブを進めるにあたり、R4 年度は単行本についての書誌管理・所蔵登録システムを開発した。R5 年度は、さらにマンガに特徴的な形態であるマンガ雑誌についての所蔵管理システムについて研究開発を行った。

国立国会図書館を始め、一般的な図書館システムでは雑誌書誌、特に一冊単位での管理の概念がないものが多く、一冊単位での所蔵管理が可能な雑誌所蔵管理システムの開発そのものが研究としての意義が大きい。

雑誌管理は、雑誌の基本情報となるメタデータ(管理項目)と、雑誌の一冊のメタデータの両者を別に管理し、所蔵単位である一冊の情報を探しやすく設計することが必要である。マンガ雑誌特有の「表示号数」(巻号通巻とは別の、表紙などに大書されている数字)などのメタデータを有効活用するなどの工夫を施している。

[illegible]

資料収集方針に基づき、下記の資料を収集した。

- 整理や目録化については、R5 年度は海外マンガ単行本のうち英語・スペイン語・タイ語の正本・複本の整理が終了したほかは引き続き整理を継続する。整理で発生した複本については、学内外での有効活用を提案する。

(2) 広報活動

- 1) 後述の梶原一騎展や実用新案取得については熊本大学広報からのリリースが配信され、他の活動も含めて下記のマスコミに取り上げられた。

2023 年 6 月 17 日 KTT 熊本県民テレビ 情報番組放送

2023 年 8 月 19 日 『日本経済新聞』掲載

2023 年 8 月 20 日 『熊本日日新聞』掲載

2023 年 9 月 19 日 『読売新聞』掲載

2023 年 9 月 23 日 TKU テレビ熊本 ニュース放送

2023 年 10 月 27 日 『熊本日日新聞』掲載

2023 年 10 月 27 日 RKK 熊本放送 ニュース放送

2023 年 11 月 6 日 『朝日新聞』Web 掲載

2023 年 11 月 14 日 『熊本経済新聞』Web 掲載

2023 年 11 月 15 日 『熊本日日新聞』掲載

2023 年 11 月 19 日 TKU テレビ熊本 ニュース放送

2023 年 11 月 24 日 『熊本日日新聞』掲載

2023 年 12 月 4 日 RKK 熊本ラジオ 情報番組放送

- 2) 熊本大学の広報媒体では、リリースのほか下記の取材を受け熊本大学より発信された。

・『フィロソフィアの扉』第 54 回「大学院人文社会科学研究部 日高 利泰准教授」

(熊本大学 YouTube、2023 年 8 月、<https://www.youtube.com/watch?v=uTmWJO5rJ0w>)

・『熊大なう』『熊大を「マンガ学」の全国的拠点に！(文学部附属国際マンガ学教育研究センター 池川佳宏 准教授)』(熊本大学 Web 広報誌、2024 年 3 月 19 日、https://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/kouhou/kouhoushi/kumadainow/copy_of_kumadai_now_file_2023/20240319)

(3) 展覧会・講演会・地域貢献など

- 1) 五高記念館企画展「梶原一騎が描いた五高生 ―あゝ五高 武夫原頭に草萌えて―」開催

【主催】熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター

【協力】熊本大学五高記念館／キャンパスミュージアム推進室／くまもと文学・歴史館
／有限会社グループ・ゼロ

©梶原一騎(AT プロダクツ)／影丸穰也

【展示期間】令和 5 年 7 月 28 日(金)～令和 5 年 9 月 25 日(月)

【場所】熊本大学五高記念館 2 階第 1 企画展示室 入場無料

【展示紹介文】

「熊本にルーツを持つマンガ原作者・梶原一騎は、1978年に昭和初期の旧制五高を舞台にした群像劇「あゝ五高 武夫原頭に草萌えて」(作画：影丸譲也)を『週刊漫画アクション』で連載しました。本展示では、梶原一騎が描いた五高生に注目し、実際の五高生との比較から梶原一騎の創作性について明らかにするとともに、梶原一騎にとって熊本や五高を舞台に原作を描くとはどういうことだったのかを掘り下げてパネル解説いたします。

今回の企画展では著作権者の協力のもと、単行本未収録となっている「幻の第一話」を会場で公開いたします。この「幻の第一話」は梶原一騎がルーツの熊本を取材に訪れるドキュメンタリーであり、彼の作家性を考えるうえで大変貴重な作品となっています。この機会にぜひご覧ください。



※同企画展は、熊本大学×ニューコ・ワン共同企画として、蔦屋書店熊本三年坂店 地下 1 階イベントスペースにて巡回展示された(期間:11/15 水～11/21 火)。

また、11/18 には梶原一騎氏のご子息、高森城氏とのトークイベントも実施した。

トークイベント開催概要

11 月 18 日(土)14:30～15:30 同展示会場にて(入場無料)

①「梶原一騎が描いた熊本と五高―ルーツとしての熊本」

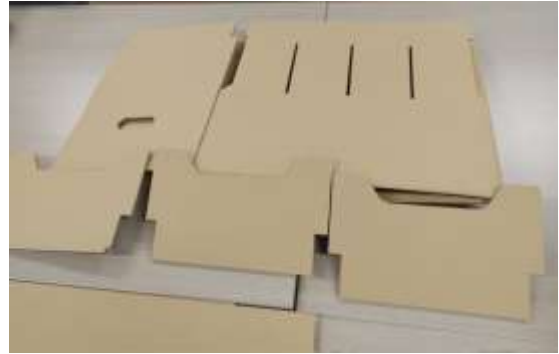
熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター兼務教員 池川 佳宏

②「ご家族に聞く梶原一騎像」

AT プロダクツ代表取締役 高森 城 (聞き手：池川 佳宏准教授)

2) 製品「中綴じマンガ雑誌用収蔵ダンボール」を考案・熊本大学が実用新案を取得

センター兼務教員の池川准教授が考案した、「中綴じマンガ雑誌」を効率的に収蔵管理する専用ダンボール BOX が熊本大学の申請で実用新案を取得した。当発明は製品化され、熊本県内企業 BTconnect とライセンス契約を行い販売開始した。



当製品は11月8日の記者懇談会でプレゼンテーションされ、朝日新聞や熊本日日新聞などで報道された。

(実用新案情報)

考案の名称：雑誌収納用組立箱及び雑誌輸送用身蓋セット

実用新案権者：国立大学法人熊本大学

考案者：池川 佳宏（文学部附属国際マンガ学教育研究センター兼務教員）

登録番号：実用新案登録第 3242047 号(U3242047)

3) NHK 大学セミナーin 熊本大学「マンガをテレビメディアで語る」開催協力

主催:熊本大学・NHK 熊本放送局で、「NHK 大学セミナーin 熊本大学」として熊本大学 OB で NHK エデュケーショナルプロデューサーの秋満吉彦氏と、宗教学者・相愛大学学長の釈徹宗氏による「マンガをテレビメディアで語る」トークイベントを開催し、国際マンガ学教育研究センターが企画・運営に協力した。

4) 「くまもとマンガ協議会」での取り組み

・熊本日日新聞社主催「第2回熊日マンガ文化賞」の選考協力をセンター教員が行い、2023年10月13日に川崎のぼるさんの受賞が発表された。授賞式は10月27日に開催され、伊藤センター長が祝辞を述べた。

・「くまもとマンガ協議会」の月例勉強会へセンター教員が参加し、「クリエイター交流会」など各ワーキンググループへの参加と進行補助などを行った。

・くまもと文学・歴史館企画展「くまもとマンガ展」(2023年7月21日～9月25日 於:くまもと文学・歴史館)に出店し、当センターの紹介と成果などを展示した。また、8月20日に開催された記念シンポジウム「マンガ県くまもとの10年後」で、兼務教員の池川が司会として登壇し、後にYouTube公開された。

3.センター教員の年間活動(2023 年 4 月～)

伊藤 正彦（センター長）

・「第 2 回熊日マンガ文化賞」選考協力・祝辞、2023 年 10 月 27 日（贈呈式）、ホテル日航熊本

鈴木 寛之

各種委員

- ・令和 5 年度 文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 分野別強化事業「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」コーディネーター
- ・株式会社こうし未来研究所 顧問（合志マンガミュージアム運営協力）
- ・湯前町まんがのまちづくりアドバイザー会議 委員
- ・熊本博物館協議会 副会長
- ・NPO 法人 熊本マンガミュージアムプロジェクト 副代表

講演

- ・「マンガ県くまもと」の系譜と梶原一騎―「あゝ五高 武夫原頭に草萌えて」を中心として― 講演、第 8 回熊本大学 九州連合同窓会、2023 年 10 月 21 日、ザ・グローバルビュー長崎 3 階プレミアホール
- ・シンポジウム「マンガ刊本アーカイブセンターの創設に向けて」企画・司会、2023 年 10 月 21 日、明治大学（令和 5 年度文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 分野別強化事業）

日高 利泰

各種委員

- ・令和 5 年度 文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 分野別強化事業「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」マンガ刊本アーカイブ設置準備委員会メンバー
- ・日本マンガ学会理事（大会実行委員担当）

メディア出演・執筆

- ・ヤマダトモコ、増田のぞみ、小西優里、想田四(編)『少女マンガはどこからきたの?: 「少女マンガを語る会」全記録』青土社、2023 年 6 月（註釈テキスト執筆）
- ・『フィロソフィアの扉』第 54 回「大学院人文社会科学研究部 日高 利泰准教授」、熊本大学 YouTube、2023 年 8 月 <https://www.youtube.com/watch?v=uTmWJO5rJ0w>

- ・日高利泰「ロマンス・メイカー文月今日子の本領」図書の家編『文月今日子の世界：最上級のロマンス・メイカー』立東舎、2023年9月、p.150-153
- ・『Nemuki+』編集部『増補新版 伊藤潤二大研究』朝日新聞出版社、2024年3月（作品リスト作成。ただし2017年に刊行された『伊藤潤二研究』からの再録）

伊藤 弘了

各種委員

- ・日本映画学会理事（広報PR局局員）

講演

- ・「仕事と人生を豊かにする映画鑑賞」熊本ロータリークラブ例会（卓話）、2023年5月26日、熊本ホテルキャッスル
- ・「Playing the Family Game in Kore-eda's Films」Around Kore-eda: An International Conference、18 June 2018、Hiyoshi Campas、Keio University
- ・「新海誠と村上春樹の交点——『すずめの戸締まり』を支える神話的構造」村上春樹とアダプテーション研究会（オンライン）、2023年7月15日
- ・「情報社会を生き抜くための映画分析入門」高校生のための熊大ワクワク連続講義、2023年7月29日、熊本大学
- ・「映画を分析してみよう」熊本大学文学部オープンキャンパス（模擬授業）、2023年8月5日、熊本大学
- ・「小津作品が世界で評価され続ける理由——古くて新しい映画」小津安二郎生誕120年記念講演、2023年11月19日、伊勢市ハートプラダみその

メディア出演・執筆

- ・「小津安二郎の映画は、なぜ世界で評価され続けているのか？」TBS ラジオ「こねくと」（こねくとゼミナール）、2024年1月25日
- ・「よくばり映画鑑賞術」、「ひとシネマ」（毎日新聞社）、web 連載、
<https://hitocinema.mainichi.jp/series/cjfqdz7hfj>
- ・「感想迷子のための映画入門」、「よみタイ」（集英社）、web 連載、
<https://yomitai.jp/series/kansoumaigo/>
- ・「教養としての「映画を見る技術」入門」『PRESIDENT（プレジデント）』2023年6月16日号、68-71 頁
- ・「繊細さと大胆さを同居させた途方もない評伝」（【書評】平山周吉『小津安二郎』新潮社）、『キネマ旬報』2023年7月上・下旬合併号（1925号）、174-5 頁
- ・「だから是枝映画は世界で評価される…ほとんどの観客が見落としているカンヌ受賞作『怪物』の秘密」『プレジデントオンライン』、プレジデント社、2023年7月19日、

<https://president.jp/articles/-/71624>

- ・「広告における女性の身体表現の可否 「メッセージ」読み解き判断」『毎日新聞』夕刊 4面、2023 年 9 月 6 日
- ・「小津安二郎を再発見するために」『有鄰』第 588 号 1 面、有隣堂、2023 年 9 月 10 日、
<https://www.yurindo.co.jp/yurin/32559>
- ・「年末年始は“超長編”名作シリーズを一気見だ!! (映画編)」『週刊プレイボーイ』2024 年 1 月 8 日号、集英社、163 頁、
<https://wpb.shueisha.co.jp/news/entertainment/2023/12/25/121767/>
- ・「受け継がれる小津安二郎の記憶 (上) ヴィム・ヴェンダース作『PERFECT DAYS』——登場人物の名前を介し脈々と」『西日本新聞』朝刊 10 面、2024 年 1 月 23 日
- ・「受け継がれる小津安二郎の記憶 (下) 起伏の少ない展開に際立つ差異」『西日本新聞』朝刊 8 面、2024 年 1 月 26 日
- ・「喪失と再生の過程を歩く一映画『すずめの戸締まり』における足元の描写——」『村上春樹とアダプテーション研究』2 号、2024 年 1 月、65-70 頁、
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haruki-adapt/publications/>
- ・「女性映画監督の作家性を掬い／救い上げる——時代の規矩たる書が登場したことの意義」(【書評】北村匡平・児島美月『彼女たちのまなざし——日本映画の女性作家』[フィルムアート社])、『読書人』2024 年 3 月 29 日号 (3533 号) 6 面
- ・「新刊紹介 小津安二郎松阪記念館編『小津安二郎日記 大正七年・十年』」『日本映画学会会報』71 号、2024 年 3 月 31 日、16-9 頁、
<https://japansociety-cinemastudies.org/wp-content/uploads/2024/04/kaihou71.pdf>

池川 佳宏

各種委員

- ・令和 5 年度 文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 分野別強化事業「マンガ刊本アーカイブセンターの実装化と所蔵館ネットワークに関する調査研究」マンガ刊本アーカイブ設置準備委員会メンバー
- ・令和 5 年度 同事業「マンガ原画アーカイブセンターの実装と所蔵館連携ネットワークの構築に向けた調査研究」マニュアル部会メンバー
- ・日本漫画家協会 日本漫画家協会賞 最終選考員
- ・湯前町まんがのまちづくりアドバイザー会議 委員
- ・日本マンガ学会理事 (事務局担当)
- ・NPO 法人 熊本マンガミュージアムプロジェクト 理事
- ・熊本県文化懇話会・文化協会 会員

展示企画・ポスター発表

- ・企画展「梶原一騎が描いた五高生 ―あゝ五高 武夫原頭に草萌えて―」企画、2023 年 7 月 28 日～9 月 25 日、五高記念館（協力:キャンパスミュージアム推進室）
- ・「くまもとマンガ展」当センター出展内容テキスト執筆、2023 年 7 月 28 日～9 月 25 日、くまもと文学・歴史館
- ・企画展「梶原一騎が描いた五高生 ―あゝ五高 武夫原頭に草萌えて―」巡回展、2023 年 11 月 15 日～11 月 21 日、蔦屋書店熊本三年坂店（熊本大学×ニューコ・ワン共同企画）
- ・実用新案「中綴じマンガ雑誌用収納ダンボール BOX」第 3 回 Kumadai-Hub 巡回ポスター展、2023 年 12 月 19 日、熊本大学工学部百周年記念館

産業財産権取得

- ・実用新案権「雑誌収納用組立箱及び雑誌輸送用身蓋セット」、2023 年 5 月登録（「中綴じマンガ雑誌用収納ダンボール BOX」として BTconnect より販売。協力：熊本大学熊本創生推進機構）

講演

- ・「マンガ文化と熊本県 - 梶原一騎が描いた五高生」、熊本ロータリークラブ例会（卓話）、2023 年 6 月 16 日、熊本ホテルキャッスル
- ・「くまもとマンガ展」記念シンポジウム「マンガ県くまもとの 10 年後」司会・登壇、2023 年 8 月 20 日、くまもと文学・歴史館（同館企画展のイベントとして）
- ・シンポジウム「マンガ刊本アーカイブセンターの創設に向けて」企画・登壇、2023 年 10 月 21 日、明治大学（令和 5 年度文化庁メディア芸術連携基盤等整備推進事業 分野別強化事業）
- ・トークイベント「梶原一騎が描いた熊本と五高―ルーツとしての熊本」（池川佳宏）、「ご家族に聞く梶原一騎像」（T プロダクツ代表取締役 高森 城、聞き手 池川佳宏）2023 年 11 月 18 日、蔦屋書店熊本三年坂店（熊本大学×ニューコ・ワン共同企画の同展のイベント）
- ・「NHK 大学セミナーin 熊本大学 マンガをテレビメディアで語る」企画・司会（NHK エデュケーショナルプロデューサー秋満吉彦と宗教学者・相愛大学学長釈徹宗の対談）、熊本大学と NHK 熊本放送局の主催、2023 年 12 月 6 日、熊本大学

奥付

熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター年報
第2号(2023年度)

発行日: 2024年3月31日

発行者: 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター

860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪 2-40-1

熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター

TEL 096-342-2306

MAIL mangarc@kumamoto-u.ac.jp

ホームページ

<https://www.let.kumamoto-u.ac.jp/manga/>